

ASAZOOクイズラリー

レベル. 2

詳しく動物を知ろう！

もんだい どうぶつ まえ かんばん お
問題にでてくる動物の前に看板が置いてあります。

よ こた せいがい
しっかり読んで、クイズに答えてね。正解に○をしてください。

あさどうぶつこうえん しいく
問1 安佐動物公園で飼育されていないフラミンゴはどれ？

チリーフラミンゴ ・ アンデスフラミンゴ

せいそくち
問2 アルダブラゾウガメの生息地はどこ？

しょうとう しょうとう
ガラパゴス諸島 ・ アルダブラ諸島や
セイシェル諸島

おす めす せいちよう むれ はな
問3 チンパンジーの雄と雌のうち、成長して群れから離れることが
多いのはどっち？

雄 ・ 雌

ひんしゆ かず
問4 カイウサギの品種の数は？

ひんしゆ いか いじよう
15品種以下 ・ 150品種以上

あなほ とくい
問5 穴掘りが得意なのはどっち？

ホンドギツネ ・ ホンドタヌキ

こた どうぶつえん でぐち えんぴつ ひと かえ
答えは動物園の出口にあるよ。鉛筆をかりた人はそこで返してね。

答1 アンデスフラミンゴ

オオフラミンゴ、コフラミンゴはアフリカやヨーロッパに生息し、ベニイロフラミンゴ、チリーフラミンゴ、アンデスフラミンゴ、コバシフラミンゴはアメリカ大陸に生息しています。

フラミンゴ目 フラミンゴ科
フラミンゴ類

アメリカ、アフリカ、ヨーロッパ、インドの熱帯から温帯に計5種がすむが、ここではチリーフラミンゴ、オオフラミンゴ、ベニイロフラミンゴ、コフラミンゴを展示している。
浅い塩水湖などに大きな集団で生活し、ケイ藻、ラン藻、動物プランクトン等をラメラと呼ばれるくしのような構造のくちばしでこして食べる。美しいピンクの体色は、食べ物に含まれる色素によって現れる。

答2 アルダブラ諸島やセイシェル諸島

ゾウガメというとガラパゴスゾウガメが有名で、諸島の島ごとに形態の異なるゾウガメが生息しています。アルダブラゾウガメも同じように島ごとに形態の異なるゾウガメが生息していたようですが、はっきりと違いがわからないうちに人間がゾウガメを移動させてしまったため、交雑が起こり、今となってはどこの島由来なのかわからなくなってしまいました。

カメ目 リクガメ科
アルダブラゾウガメ

Aldabra Giant Tortoise
Geochelone gigantea

アフリカ東海上のアルダブラ諸島、セイシェル諸島に生息する世界で最も大きいリクガメの1種。
成長すると雄で甲の長さが1mを超え、体重も100kg以上になる。荒れた岩場や草原などで生活する。草食性

答3 雌

群れをつくる動物では、遺伝的な多様性を維持するために若い個体が群れから離れていく場合があります。雌が群れにとどまり、雄が群れから離れる種がほとんどですが、チンパンジーやゴリラなどいくつかの種では雌が群れを離れる父系家族群を形成します。

霊長目(サル目) ヒト科

チンパンジー

Common Chimpanzee
Pan troglodytes

アフリカ中部の熱帯雨林から乾燥したサバンナ周辺の林に生息している。
主に日中活動し、夜になると樹上に寝床を作って休む。
群れは複数の雄と複数の雌からなる。雌は一生群れにとどまるが、成長した雌は群れから出てゆく父系社会である。
主に果物や木の実を食べる。石で固い実を割ったり、枝でアリを

答4 150品種以上

カイウサギはもともと毛皮や食用としてアナウサギを家畜化したものですが、ペットとしても古くから飼育されています。多様な品種があり世界中で飼われている一方で、オーストラリアなどでは野生化したカイウサギが在来の生物と競合し、問題となっています。IUCN(国際自然保護連合)では世界の侵略的外来種ワースト100に指定されています。

カイウサギ (ウサギ目 ウサギ科)
EUROPEAN RABBIT

地中海沿岸地方に住むアナウサギを家畜化したもので、150品種以上がいる。ノウサギと姿は似ているが全くの別種。妊娠期間は約1ヶ月で、5~6頭の子どもを生む。子どもは生まれた時には毛がなく、目も閉じている。約4ヶ月でおとなになり、10年ぐらい生きる。

答5 ホンドギツネ

キツネやアナグマが掘った穴をタヌキが利用する場合がありますが、タヌキ自身はほとんど穴を掘りません。時にはアナグマとタヌキが同時に同じ巣穴に入っていたという例もあり、「同じ穴のムジナ」ということわざの語源にもなりました。

食肉目(ネコ目) イヌ科

ホンドギツネ

Japanese Red Fox
Vulpes vulpes japonica

本州、九州、四国にすむ。ネズミなどの小動物を中心に、果物なども食べる雑食性。穴掘りがよくいて地中に長いトンネルを掘って巣にし、春に1~7頭の子を出産する。通常は単独生活を送るが、繁殖期には母親を中心とした家族群を作って子育てを行なう。北海道のキタキツネは別亜種である。

ムジナ:主にアナグマを指すが、タヌキと混同している地域もある。